

「周知・報告事務電子化」及び「配達原簿電子化」の試行結果

【試行結果概要】

- ・「周知報告事務電子化」は、一定の効果が確認できたが、次世代システム等に同様の機能が構築されていることから、新たなシステムの構築は行わない。
- ・「配達原簿電子化」は、一定の定性的効果は認められるものの、超勤削減等の効果創出は困難であり、追加機能の改修が必要になることから、新たなシステムの構築は行わない。

電子化 施策名	試行の業務実態	効果	評価	
周知・ 報告事 務電子 化	ペーパー レス化	<p>【周知効果の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故現場の写真、カラー表示等を使って周知情報を掲載 <p>【紙の削減】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙媒体の電子化 <p>【作業の効率化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周知資料の電子化 	<p>【周知効果の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周知内容の社員理解の向上 ・視覚的に分かり易い資料の作成意識向上 ・説明時間の短縮 <p>【紙の削減】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミーティング資料、業研資料、掲示物等の削減 <p>【作業の効率化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周知資料の印刷、取りまとめ作業時間の短縮 	<ul style="list-style-type: none"> ・周知内容の作業負荷の軽減、社員理解向上、紙の削減で一定の効果が確認できるが、現在のシステム環境が試行開始当初と異なり、次世代システムの郵便業務支援システム等に同様の機能が構築されていることから、新たなシステムの構築は行わない。
	情報共有 化	<ul style="list-style-type: none"> ・営業情報の共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・リピート顧客の定期訪問 ・営業活動への積極性の向上 	
配達原 簿電子 化	<p>【作業の効率化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転出入処理情報、居住者確認情報を電子原簿で登録、確認 ・タブレット操作での転居ラベル印刷 <p>【紙の削減】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙帳票の配達原簿を削減 	<p>【作業の効率化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配達原簿の差替えや居住者確認作業の簡素化 ・転居ラベル印刷の処理作業の簡素化 <p>【紙の削減】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配達原簿の紙の削減 	<ul style="list-style-type: none"> ・配達原簿の整備（原簿の現行化、誤配防止、居住確認等の手間削減等）において、一定の定性的効果は認められるものの、超勤削減等の効果を生み出すことは現時点で困難なうえ、転出入処理機能の追加等の改修には多額の改修費用が想定される。 	